



息軒遺稿「地動説」について ～その思想史的意義と限界～

これまで『弁妄』や『左伝輯釈』詳解の講座において、非常に分かり易いと好評だった広島大学准教授青山大介氏による特別講座です。

今回は『息軒遺稿』に収められている「地動説」を先生独特の語り口で分かり易く解説していただきます。

安井息軒（1799～1876）は、幕末から明治初期にかけて活躍した宮崎出身の大儒です。その墓碑銘には「然れども天文・地理・工技・算数に至りては、則ち洋説を参取す」とあり、西洋の自然科学を支持していました。

本講座では、息軒の「地動説」という文章を取り上げ、息軒が儒学と西洋の自然科学をどのように併存させていたかを解説し、その近代思想史上の意義について説明します。

by D. Aoyama

■日 時 令和8年 8 月 9 日（日）

10時～11時45分

■場 所 宮崎市安井息軒記念館 研修室

■講 師 広島大学准教授 青山大介氏

■定 員 40名

■受講料 無料

■申込み・問合せ

TEL. 0985 - 84 - 0234（宮崎市安井息軒記念館）

FAX. 0985 - 71 - 3005

※窓口および右のQRコードからも申し込めます。

受講者募集

